保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間中でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	外部マイク端子付 AM/FMステレオラジオカセットレコーダー			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	RCS-S708M	品　番	07-9729	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)

お客様	
	★お名前　　　　　　　　様
	★ご住所　〒　　　ー 電話　　　(　　　)

修理メモ

販売店	★住所　店名　電話 ㊞

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●フリーダイヤル（無料） 0120-963-006
●携帯電話・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30 土曜 9：00～17：00 日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00 土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-9729A

AudioComm®

取扱説明書 保証書付

外部マイク端子付
AM/FM
ステレオラジオカセットレコーダー
型番：RCS-S708M

このたびは、AudioComm®ステレオラジオカセットレコーダーをお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。”** また、お読みになった後も、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保存してください。

目次

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

危険 この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
（左図の場合は感電注意が描かれています。）

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止が描かれています。）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。）

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間および経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果および利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

⚠警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く
- ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く
- ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ●販売店にご連絡ください。

万一、内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く
- ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ●販売店にご連絡ください。

本機を分解、修理、改造しない
- ●火災・感電の原因となります。

海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない
- ●火災の原因となります。
- ●この機器を使えるのは日本国内のみです。

コードを交換する

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する
- ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ●修理をご依頼ください。

浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない
- ●火災や感電の危険があります。

雷が鳴り始めたら、安全のため本機および電源コードに触れない

表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない
- ●火災・感電の原因となります。

乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする
- ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない
- ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを敷物などで覆わない
- ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

**本製品を使用時は必ず付属の電源コードを使う。
また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しない**
- ●付属の電源コードは本製品専用です。
- ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
- ●コードが破損して火災・感電の原因となります。

⚠注意

禁止

調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない
●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけない
●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

禁止

湿気やほこりの多い場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。

音量は小さく

電源を入れる前には、音量を最小にする
●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

乾電池の電極性に注意

乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる
●間違えると電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

指定以外の乾電池は使用しない。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

コンセントから抜く

お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く
●感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
●感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずプラグを持って抜いてください。

アンテナに注意

持ち運びするときは、アンテナを折り畳む
●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。

コンセントから抜く

移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

指を挟まれないように注意

お子様がカセットドア内に手を入れないように注意する
●けがの原因となることがあります。

音量に注意

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない
●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

コンセントから抜く

旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す
●火災・液もれの原因となることがあります。

禁止

電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニター等)に近づけない
●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

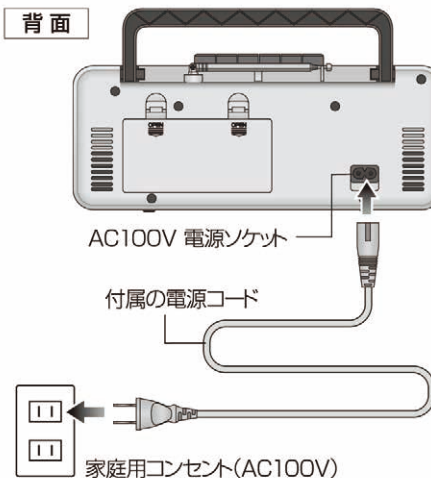
電源について

電源コードを抜き差ししたり、電池を出し入れするときは、ファンクションスイッチを「カラオケ／ラジオ切／テープ」側にして電源が切れた状態で行ってください。

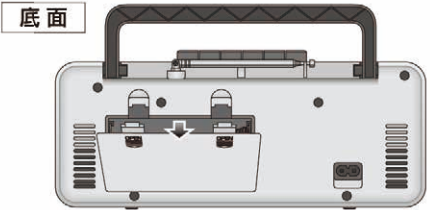
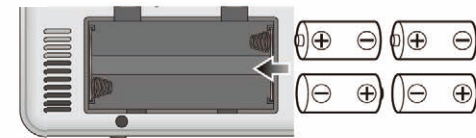
電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。
突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用電源で使う場合

付属の電源コードで本体のAC100V用電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。
◆乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り替わります。
◆本機を使用しない時は電源コードをコンセントから外してください。

背面

乾電池で使う場合

◆アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。
◆電池ぶたを外し、乾電池の⊕と⊖を間違えないように、単2形乾電池4本を入れます。
※大切な録音をする時は、付属の電源コードを使用してください。

底面

本体底面の電池ぶたのツメを押し下げながら手前に引き、電池ぶたを開けてください。

乾電池の向きを図のように正しく入れてください。コイルばねのあるほうが⊖側です。

単2形乾電池4本使用(別売)

※付属の電源コード(ACコード)は本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源コード(ACコード)をお使いください。また、付属の電源コード(ACコード)は絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池についての安全上のご注意

使い方を誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂などにより、火傷や大けが、失明の原因になります。

⚠警告

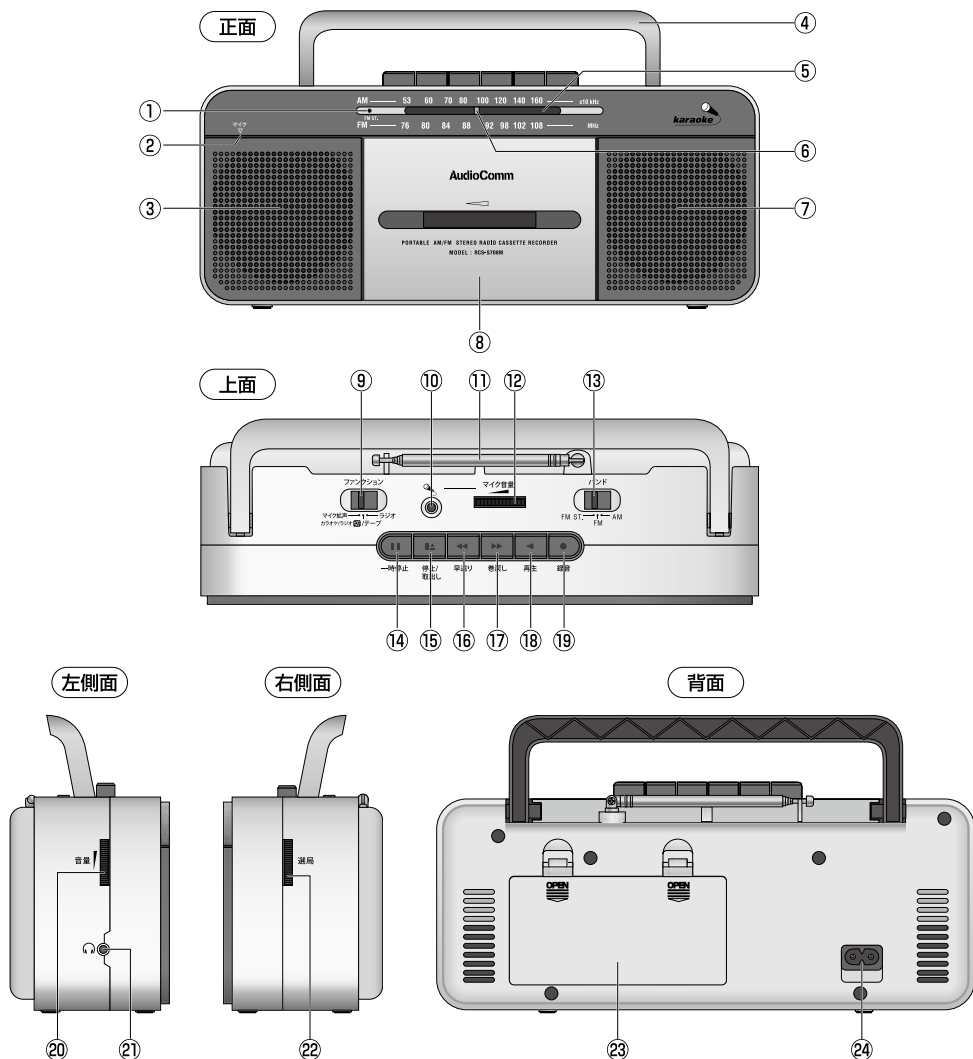
・乾電池が液もれした時は…
液が本体内部に残ることがあるため、弊社修理ご相談センターにご相談ください。液が目に入った時は、失明の原因となる恐れがありますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。
・機器の表示に合わせて⊕と⊖を正しく入れる。
・充電しない。
・火の中に入れない。
・ショートさせたり、分解、加熱しない。
・火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高音の場所で使用、保管、放置しない。
・水などで濡らさない。浴室など湿気の多い場所で使わない。

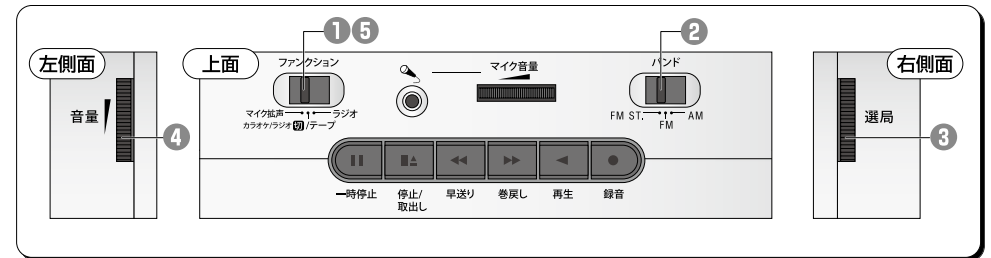
⚠注意

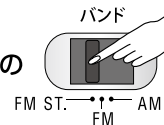
・使い切った電池は取り外す。長時間使用しない時や、長時間家庭用電源(ACコード)で使用する時も取り外す。
・新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

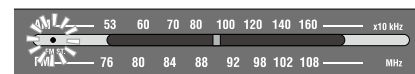
使用済み電池を破棄する時は…

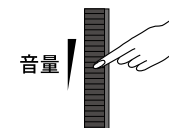
使用済みの電池に関して、自治体の条例などで決まりがある場合には、それに従って破棄してください。

各部の名称

①FMステレオ表示ランプ
②録音マイク(内蔵)
③左スピーカー
④ハンドル
⑤選局目盛り
⑥選局指針
⑦右スピーカー
⑧カセットドア
⑨ファンクションスイッチ
⑩マイクジャック
⑪FMロッドアンテナ
⑫マイク音量調整ツマミ
⑬バンド切換スイッチ
⑭一時停止ボタン
⑮停止/取出ボタン
⑯早送りボタン
⑰巻戻しボタン
⑱再生ボタン
⑲録音ボタン
⑳音量調整ツマミ
㉑ヘッドホンジャック
㉒選局ツマミ
㉓電池ぶた
㉔AC100V電源ソケット

ラジオを聴く

1 ファンクションスイッチを「ラジオ」に合わせます。

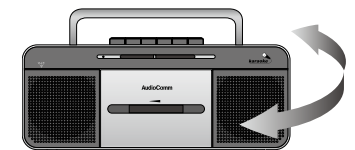
2 バンド切換スイッチで、AM、FM、FMステレオのいずれかを選びます。

3 選局ツマミを回して聴きたい放送局を受信します。

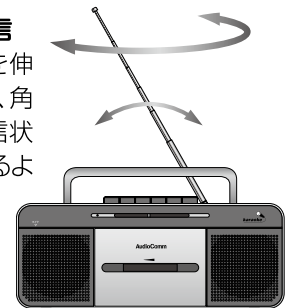
選局

FMステレオを選択している場合、良好に受信するとFMステレオ表示ランプが点灯します。

4 音量調整ツマミでお好みの音量に調整します。

5 ラジオを切るときは、ファンクションスイッチを「カラオケ/ラジオ切/テープ」に合わせます。

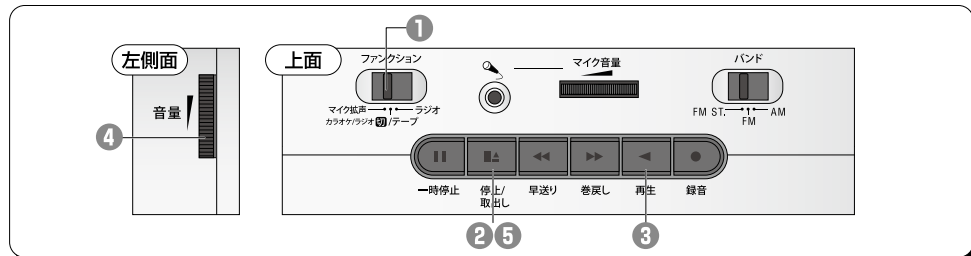
受信状態をよくするには

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。

●FM放送の受信

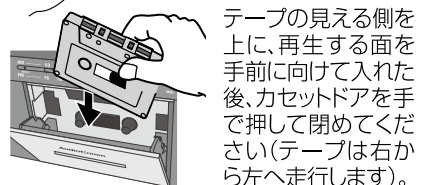
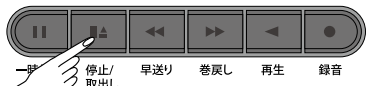
ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。

ご注意

- ●テレビの近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。
- ●持ち運び時は、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナは縮めた状態でお持ち運びください。
- ●近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。

カセットテープを聴く

❶ ファンクションスイッチを「カラオケ／ラジオ切／テープ」に合わせます。

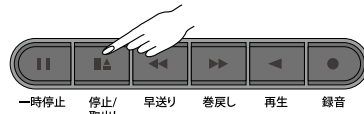
ファンクション
マイク拡声　ラジオ
カラオケ/ラジオ切/テープ

❷ 停止／取出しボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着します。

テープの見える側を上に、再生する面を手前に向けて入れた後、カセットドアを手で押して閉めてください(テープは右から左へ走行します)。

テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

❸ 再生ボタンを押すと、再生が始まります。

❹ 音量調整ツマミでお好みの音量に調整します。

❺ 停止／取出しボタンを押すと、テープ走行が止まります。

ヒントとご注意

●セミオートストップ機能

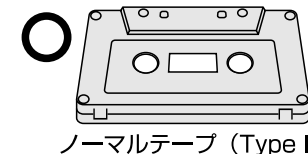
録音／再生時に、テープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。
早送り／巻戻しでは自動的に止まりません。故障の原因となることがありますので、必ず停止ボタンで止めてください。

●テープ走行動作中に他動作へ移る際は、必ず停止ボタンでテープ動作を停止させてから行ってください。テープのからまり、故障や破損の原因になることがあります。

カセットテープ操作ボタンの基本機能

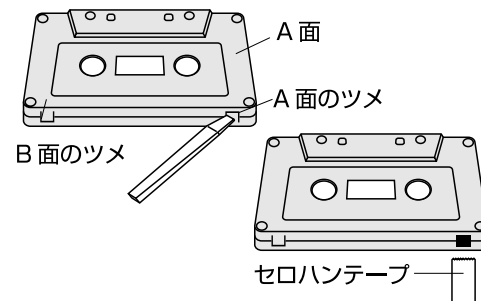
一時停止（❙❙）……再生中に押すと再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。
停止／取出し（■▲）……早送り･巻戻し･再生･録音中に押すとそれらの動作を停止します。停止中に押すとカセットドアが開きます。
早送り（◂◂）………押すとテープを左側のリールに早送りします。
巻戻し（▸▸）………押すとテープを右側のリールに巻戻しします。
再生（◂）…………押すとテープを再生します。
録音（●）…………押すとテープに録音します。このボタンを押すだけで再生ボタンも一緒に押し込まれ、録音状態になります。

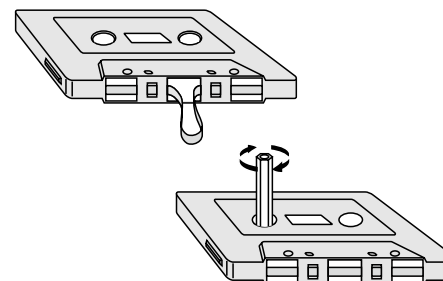
使用できるテープの種類

ノーマルテープ(TypeI)をお使いください。
ハイポジションテープ(Type　II)や、メタルテープ(Type IV)には録音できません。
ノーマルテープにおきましても、C-90(90分テープ)未満のテープを使用してください。C-90以上の長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれる等のテープトラブルの原因となりかねませんので、ご使用はお薦めできません。
エンドレステープはご使用になれません。

○ ノーマルテープ（Type I）
× ハイポジションテープ（Type II）
× メタルテープ（Type IV）

録音した内容を誤って消去しないために

●カセットテープの背面にある誤録音防止用のツメをドライバー等で折ります。
●ツメを折ったカセットテープにもう一度録音するにはツメを折った穴をセロハンテープ等でふさぎます。

A 面
A 面のツメ
B 面のツメ
セロハンテープ

カセットテープのたるみについて

ご使用の前に、テープのたるみを必ず取り除いてください。たるんだまま使用するとテープが機械に巻き込まれて故障の原因となることがあります。

ご注意 **音楽著作権について**

放送やレコードその他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

カセットテープに録音する

内蔵の録音マイクで録音する場合

❶ ファンクションスイッチを「カラオケ／ラジオ切／テープ」に合わせます。

❷ 停止／取出しボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着します。

テープの見える側を上に、録音する面を手前に向けて入れた後、カセットドアを手で押して閉めてください（テープは右から左へ走行します）。

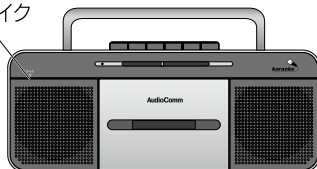
テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

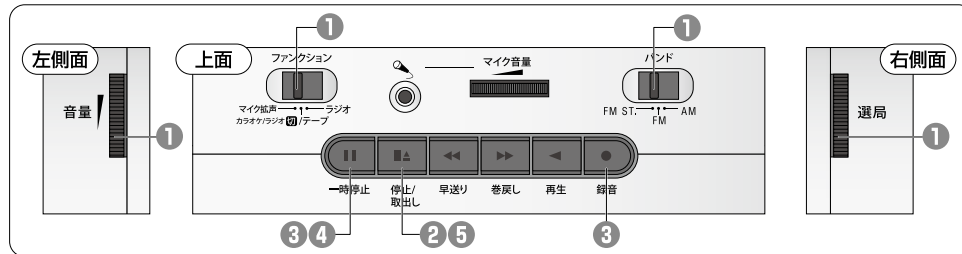
❸ 録音ボタンを押すと、録音が始まります。

※再生ボタンも同時に押されます。

❹ 録音を終えるときは停止／取出しボタンを押します。

ヒントとご注意

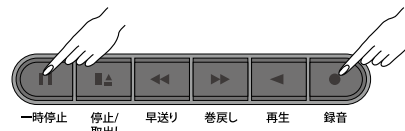
●録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
●本機の録音マイクは正面左にありますので、録音時はマイク部を音源に向けてください。

●テープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。
●大切な録音をする時は、付属の電源コードのご使用をお薦めします。

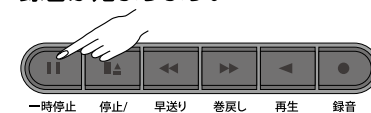
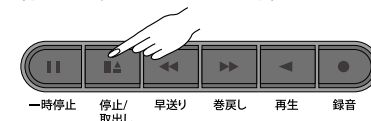
ラジオ放送を録音する場合

❶ ファンクションスイッチを「ラジオ」に合わせ、録音したい番組を受信します。

❷ 停止／取出しボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく装着します。

テープの見える側を上に、再生する面を手前に向けて入れた後、カセットドアを手で押して閉めてください（テープは右から左へ走行します）。

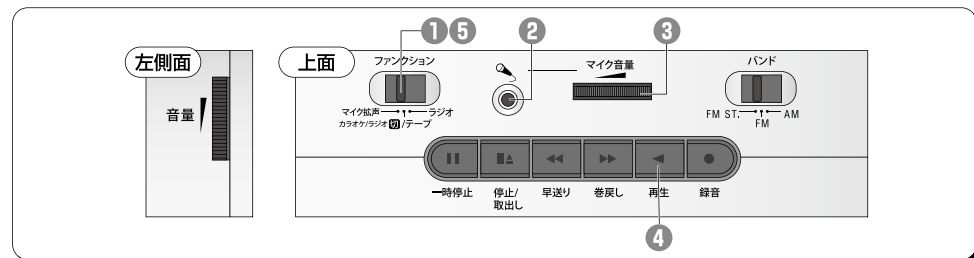
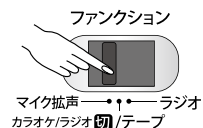
テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

❸ 一時停止ボタンを押した後、録音ボタンを押して、録音一時停止状態にします。

※録音ボタンを押すと再生ボタンも同時に押されます。

❹ もう一度、一時停止ボタンを押すと録音が始まります。

❺ 録音を終える時は、停止／取出しボタンを押します。

ヒントとご注意

●録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
●テープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。
●大切な録音をする時は、付属の電源コードのご使用をお薦めします。

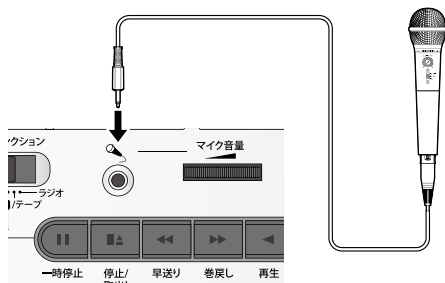
外部マイクを接続して使う

マイクジャックに市販のφ3.5mmミニプラグ対応マイク(ダイナミック型モノラル・別売)を接続して、カラオケを楽しんだり、会議等の拡声器として使えます。用途に応じてファンクションスイッチを切り換えてご使用ください。

❶ 用途に応じてファンクションスイッチを切り換えます。

テープに合わせてカラオケを楽しむ場合

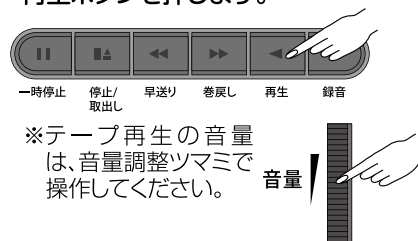
→「カラオケ／ラジオ切／テープ」に合わせます。

拡声器としてマイクだけを使う場合

→「マイク拡声」に合わせます。

❷ 別売のマイクをマイクジャックに接続します。

❸ マイク音量調整ツマミでお好みの音量に調整します。

※近隣への迷惑にならないよう、音量には十分ご注意ください

❹ カラオケを楽しむ場合は、カセットテープをセットして、再生ボタンを押します。

※テープ再生の音量は、音量調整ツマミで操作してください。

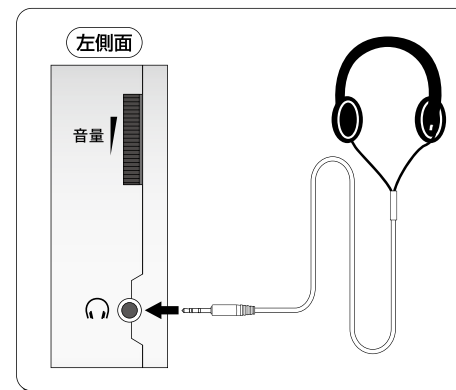
音量

❺ 外部マイクの使用が終わったら、マイク音量を最小にして、ファンクションスイッチを「カラオケ／ラジオ切／テープ」に合わせます。

ファンクション
マイク拡声 ラジオ
カラオケ/ラジオ切/テープ

ヒントとご注意

- 外部マイク接続時に録音ボタンを押すと、外部マイクからの音声をテープに録音することができます(録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません)。
- ただし、カラオケ用のテープを装着時に録音操作をすると、テープが上書き録音されますので、ご注意ください。
- 大切な録音をする時は、付属の電源コードのご使用をお薦めします。

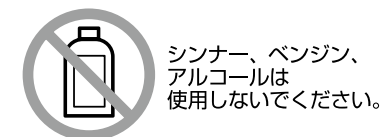
ヘッドホンの使い方

- 別売のステレオヘッドホン(φ3.5mm ステレオミニプラグ)をヘッドホンジャックにつなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用コンセントでご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聞こえる「ブーン」という音)が耳障りになるときがあります。その場合は乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。

ラジオカセットレコーダー使用上の注意

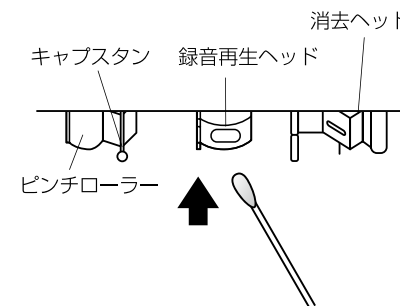
- ラジオから録音する場合は、受信状態が十分安定していることをお確かめの上、録音されることをお薦めします。受信状態が悪いと録音状態も悪くなります。
- カセットテープの装着は正確かつ丁寧に行ってください。装着が不確実ですと、テープが絡まる、巻き取らない、操作ボタンが押せない等のトラブルが生じます。なお、ご使用中のカセットテープの故障及び破損につきましては一切責任は負いませんのでご了承ください。
- 近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意しましょう。

お手入れ方法

【本体のクリーニング】

本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れのひどいときは布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いたあと、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

【本体ヘッド部のクリーニング】

ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーなどのテープと接触する面の汚れは、雑音や不安定なテープ走行の原因となります。常に良い音でお楽しみいただくためにも、定期的に(約20時間のご使用を目安に)お手入れをしてください。
お手入れの方法は、市販の綿棒に無水アルコールか、クリーニング液を少し含ませてヘッド部分の汚れを丁寧に拭き取ります。このとき、綿棒をキャプスタンやピンチローラーに巻き込まれないようにご注意ください。

故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいときは、サービスをご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。

症 状	チェック項目
動作しない	電源コードがはずれて（ゆるんで）いませんか？
	乾電池が正しく入っていますか？
	乾電池が消耗していませんか？
音が出ない	音量が最小になっていませんか？
	ヘッドホンジャックにヘッドホンが差し込まれていませんか？
	ファンクションスイッチが適切な位置になっていますか？
カセットドアが閉まらない	カセットが逆向きではありませんか？
	操作ボタンを押していませんか？
テープ走行が不安定 テープが走行しない	テープがたるんでいませんか？
	乾電池が消耗していませんか？
テープが機械に巻きつく	ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか？
	テープがたるんでいませんか？
	カセットドアがきちんと閉まっていますか？
録音ボタンが押せない	録音しようとするカセットの、誤消去防止用のツメが折れていませんか？
	カセットドアがきちんと閉まっていますか？
	カセットが入っていますか？
前の録音を完全に消去できない 録音した音がひずむ	ハイポジション（TypeⅡ）やメタルポジションテープ（TypeⅣ）を使っていませんか？
	消去ヘッドが汚れていませんか？
雑音がひどい、音が震える 音飛びがする、高音が出ない	ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れていませんか？
	テープがたるんでいませんか？
	乾電池が消耗していませんか？
ラジオ時に雑音が入る	近くで携帯電話を使用していませんか？（携帯電話を本機から離して使用してください。）
	テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信すると、AM 放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
録音できない	ヘッドが汚れていませんか？
	録音防止用のツメが折れていませんか？
ラジオは聴けるのに テープの音が出ない／小さい	乾電池が消耗しています。新しい乾電池に替えてください。

主な仕様

■共通部

定格出力	600mW×2(r.m.s)
周波数特性	100Hz～8kHz
スピーカー	78mm x 2 個
電源	AC 100V 50/60Hz
	単2形乾電池 ×4本（別売）
定格消費電力	6W
外形寸法	幅 290× 高さ 116× 奥行 85mm（突起物含まず）
重量	約 1200g（乾電池含まず）
乾電池の寿命（目安）	ラジオ時 アルカリ乾電池：約 90 時間 マンガン乾電池：約 40 時間 テープ再生時 アルカリ乾電池：約 35 時間 マンガン乾電池：約 20 時間 ※電池寿命は音量によって異なります。

■カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネル ステレオ方式
ワウ/フラッター	0.35%以下

■チューナー部

受信周波数	FM：76～108MHz
	AM：530～1605kHz
アンテナ	FM：ロッドアンテナ
	AM：内蔵フェライトバーアンテナ

■付属品

電源コード、取扱説明書（保証書）

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。